

Topics 1 梅毒って??

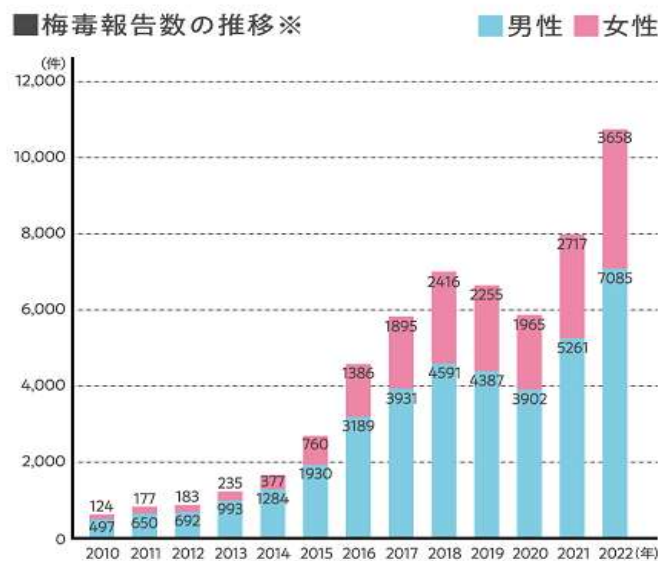
梅毒トレポネーマという病原体により引き起こされる感染症で、**一度治療して治っても再び感染**することがあります。

梅毒に感染すると、**性器や口の中に小豆から指先くらい**のしこりができたり、**痛み、かゆみのない発疹が手のひらや体中に広が**ったりすることがあります。また、これらの**症状が消えても感染力が残っている**のが特徴です。治療をしないまま放置していると、**心臓や脳などの臓器に重大な合併症**を引き起こすこともあります。

Topics 2 昨年1日に約36人が梅毒に感染

昨年、新たに報告された梅毒感染者は**1万3226人**でした。今年11月19日の時点で**1万3251人**となり、去年1年間を上回り、現在の方法で統計を取り始めて最も多くなりました。感染者数は3年連続で過去最多を更新していて、**男性は20～50代、女性は突出して20代の感染が増加**しています。

では、私たちの住む大阪府ではどうでしょう。昨年度、大阪府の感染者数は**1825人**でした。日本の感染者患者の**約14%**を大阪が占めていることとなります。



※厚生労働省 HP より

2021年は2022年10月8日時点集計値(暫定値)、2022年は2022年11月9日時点集計値の報告を対象としている

梅毒について知ろう



性感染症は性と向き合う年齢に届いたあらゆる人の問題です。
今のあなたは自分には関係ないと思うかもしれませんが。

でも、いつか大切な人ができたとき、性と向き合うとき、正しい知識をもってほしいのです。

自分を守るために、大切な人を守るために、あなた自身の問題だとすることに気付いてください。

Topics 3 梅毒は予防できます

梅毒は病変部位と粘膜や皮膚が直接接触することで感染します。具体的には、性器と性器、性器と肛門、性器と口の接触等です。

さらに、妊婦が感染していて適切な治療を行わなかった場合、胎盤を介して母子感染し、流産や死産となる可能性があります。また生まれた場合にも、梅毒感染による障害が見られることがあります。

性行為による感染を防ぐために考えてみて欲しいこと

①「好き=したい」ではない

好きな相手でも「したくない」って言うていいんです。お互いを大切に思うなら、**性行為について、またそれによって起こり得る妊娠や感染症などについて、どう考えているかを話せる関係になってほしい**と思います。そして、お互いにそれらの準備や覚悟が出来るまでは、性行為をしないという選択ができるといいですね。



② 自分の身体のことをちゃんと知る

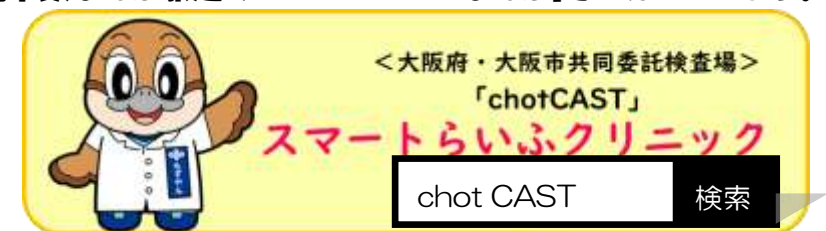
性行為により様々な細菌やウイルスがお互いの体を行き来します。どんな予防法を選択しても、それらすべてを予防することはできません。**何らかの性感染症にかかっている可能性がゼロでないのなら検査を受けて、自分の身体の状態を知っておくことも大切です。**

③ コンドームを適切に使用する

ただし、コンドームが覆わない部分から感染する可能性もあるため、感染を100%防ぐことは難しいのです。だから**①②にあげた準備ができてから、なんです。**

Topics 4 検査は無料・匿名で受けられます

大阪では HIV 検査とともに梅毒検査を**保健所、保健福祉センター、地下鉄なんば駅近くの「chotCASTなんば」**等で行っています。



知りたいこと、不安に思うことがあれば、いつでも保健室へどうぞ